

# KIFUCOFFEE JOURNAL

No.02

寄付アクションのその先

June 2025



KIFUCOFFEEを通して、寄付アクションにご参加いただきましてありがとうございます。  
KIFUCOFFEEの寄付額だけではなく、寄付のその先と一緒に知り、共有できる機会があればと思います、2025年はJOURNALという形でお届けします。  
ぜひコーヒーを飲みながら読んでいただけたら嬉しです。今月は10代のサードプレイス「100日荘への寄付」のその先をお届けします。

## 100日荘ってどんなところ？

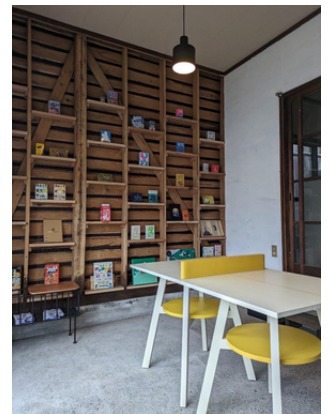
まず最初に、100日荘について改めてご紹介します。  
100日荘があるのは、東京都あきる野市。武蔵五日市駅から徒歩10分ほどの場所にあります。  
居場所の選択肢が減る10代にも、学校や家庭以外に切れ目のない居心地のよい第3の居場所がある社会を目指して、年間ほぼ100日開いているこども食堂とコミュニティフリッジ併設のユースセンターです。  
東京都あきる野市に住む二児の母が末岡真理子さんが仕事の傍らボランティアで運営しています。

年間3万人近いこどもたちが不登校になり、年間500人を超える小中高生が自らの命を絶つ現状。その中には、家や学校だけでなく社会が用意した公的なセーフティネットにも引っ掛からず、どこにも居場所がないと感じながら過ごしているこどもたちも少なくありません。

100日荘では、こどもの居場所と定義しない場をまちに開き続ける事でセーフティネットの隙間を少しでも埋め、居場所の選択肢の少ない10代の安全網となったらという思いで活動されています。

本を読んだり音楽を聴いたりごはんを作ったり、自分にとって心地よい過ごし方で過ごすことでセルフケアする力を育むユースセンターです。

真理子さんは、渋谷区で恵比寿こども食堂を主宰していました。そこから見えた課題...それが10代の居場所の必要さだったそうです。そんな現状に、何かできることは...と、ご自身のお金で空き家を改修し、運営をスタート。  
7月で3年目を迎えるという節目に率直なお声を聞かせいで頂きました。



**一まもなく3年目を迎えますが、率直に感じることを、思うことを教えてくださいー**

まだまだ試行錯誤の連続ですが、必要な人に届いている実感はしっかり手ごたえとして持っています。この実感は月2回場を借りてこども食堂をやっていた時には今ほど持っていなかったもので、常設の集まる場があることの底力を感じる日々です。その上で、居場所となりうるのには空間だけではなく、在り続けるという時間の重要性もヒシヒシと感じます。持続的にあり続けることが今一番の課題です。



—100日荘をスタートしたときに感じていた課題について、見え方や捉え方に変化はありましたか？—

10代の居場所が少ない現状は変わらないものの、忙しい10代には簡単に居場所が届きにくいことは、やってみて実感しているところです。

誤算としては、100日荘は元々私がリモートワークをしながら場を開放するスキームでしたが、私が仕事をしている時としていない時とでは、子どもたち含め場の和やかさに大きな差があり、仕事をしながら居場所を両立することに難しさを感じていて…、居場所をなめてたな～という感じです(笑)。

オープンデーは私も休みをとって、100%そこに身を投じるくらいの気持ちでいないといけないかなと思い始めています。

おしえて!

## 寄付のその先

How your donation will be used

運営費として、100日荘の家賃の一部に活用しています。



売上げの10%が100日荘への応援寄付につながるKIFUCOFFE



【ご報告】 インスタフォロワー数+いいね数のICHIWARI寄付5月は計649アクション=64円が100日荘への寄付につながりました。ありがとうございます！

—100日荘を開く中で、印象に残ってる言葉はありますか？—

いくつか浮かびますが、一番は「報告しにきた」ことです。「就職決まったよ」とか「赤ちゃん産まれたよ」「学校行けたよ」「引っ越すんだ」とか…。報告しにきたよって話しに来てくれます。LINEでもメッセージでもDMでも済む時代に、「報告しにきた」と来てくれる子の多さに驚いています。何というか…一過性じゃない関係性の土壌の上にお互いがいるのを感じるられる瞬間ですね。あと、すごく多いのは大人からの「自分が子どもの頃100日荘が欲しかった」って言葉ですね。

—最後に。

100日荘として、どんな未来をみてますか？—

100日荘を開く人と訪れる人の境界線がもっとボヤけていくといいなあとと思っています。その時その時の場のオーナーシップを訪れる人それぞれに手渡していきけるのが理想です。そういうプロセスを通して、子どもたちにとっても本当に空き地のような公園のような居場所になっていたらと思います。



寄付先

## 団体紹介

100日荘



店主

末岡真理子

■団体への直接寄付  
秋川農業協同組合 五日市支店  
普通 0054923 ヒャクニチソウ  
■活動の様子はInstagramへ  
[https://www.instagram.com/100\\_nichi\\_so/](https://www.instagram.com/100_nichi_so/)



寄付は応援や共感のひとつの形。キフクリエイトが行うプロジェクトは1割が寄付につながります。